

あつたふるさとの森

森づくりの方針



平成26年5月

石 狩 市

■まえがき 「あつたふるさとの森」森づくりの方針について

●森づくりの方針の検討と策定の経緯

厚田区小谷の「あつたふるさとの森」造成地は、平成4年から、酪農放棄地を活用したゴルフリゾート開発計画が進められましたが、開発会社の破たんにより事業が中止され、一方で、環境への影響が懸念される土地利用の検討の動きが表面化しました。

このような状況を受け、当時の厚田村は、村が先頭となって地域の自然環境を守り、地元住民の憩いの場となる森の再生を目指す必要があるとの考えのもと、平成16年に「あつたふるさとの森」整備計画を策定し、200ヘクタールの用地を取得しました。

合併後の17年10月以降は、新市に引き継がれ、20、21年度に「市民ワークショップ」を実施し、森づくりに関する思いを「ワークショップ構想図」として取りまとめました。

植樹活動も、ほぼ同時期にスタートし、20年度には森林ボランティア、また22年度には道が実施する「水源の里保全緊急整備事業」が着手され、23年度には子ども会の植樹会開催など、植樹活動は様々な団体やボランティアの参画によって着実に進んでいます。

一方、「あつたふるさとの森」造成地には、酪農地造成時の森林伐採後の草地が依然として多く残っていることから、さらにスピード感をもって計画的に森づくりを推進するため、現在の取組みに加え、新たに民間資金などの導入による取組みの可能性を検討するため、25年度には、「取組方針検討会」を開催し、地域住民、団体、森林ボランティアに参加を呼び掛け、意見・提案をいただきました。

これらの経緯を経て策定したものが、この「森づくりの方針」です。

●市民ワークショップ

「市民ワークショップ」は、学識経験者、関係団体、学生、および一般公募者、延べ84名の参加を得て、20年6、7、9、11月と21年7月の5回に渡り、実施しました。

このワークショップでは、開催日毎にテーマを決め、現地確認した結果を踏まえて、グループ毎に意見を重ね、一枚の「ワークショップ構想図」に思いが込められました。

●取組方針検討会

「取組方針検討会」は、地元厚田区の住民や団体をはじめ、市内の森林関係者、延べ88名の参加を得て、25年6、7、8、9月の4回に渡り、開催しました。

この取組検討会では、「ワークショップ構想図」の内容を可能な限り実現できるよう、ゾーンや施設等について、地域としての思いや、専門的な視点での意見や提案として、報告書にまとめ、提出していただきました。

森づくりの方針

「あつたふるさとの森」森づくりの方針

【全体コンセプト】

「あつたふるさとの森」は、地元をはじめ、市民全体の協働の取り組みにより、海を育てる「魚つきの森づくり」を進めながら、厚田の農、海産物の豊かさを活かし、多くの人たちが訪れ、憩え、体験できる森になることを目指します。

また、森づくりにあたっては、学びの場として、こども達の参加、体験に最大限配慮して、取り進めるものとし、様々な財源を活用しながら、30年、50年先を見据えながら取り組みます。

【ゾーンの設定】

H20、21 ワークショップ構想図のⅡからⅣゾーンを、新たに4つのゾーンに再設定し、各ゾーンのコンセプトに応じて、更にブロック分けをすることを基本として、計画的に整備を進めます。

なお、植樹が完了したⅠゾーン（魚つきの森1ゾーン）については、引き続き適切な管理を進めていくものとします。

ただし、状況の変化等が生じた場合、当初のゾーン設定やブロックの設置の再設定については、森づくりの関係者との協議を通じて、柔軟に対応することも想定します。

①センターゾーン

《基本コンセプト》

「あつたふるさとの森」のセンター的機能を想定するゾーン

《取り組みポイント》

- ◆ 防風対策を想定
- ◆ 夕陽が見えるビューポイント
- ◆ 都市住民との交流を想定
- ◆ 果樹栽培を想定
- ◆ センター機能と学びの拠点（管理棟）
- ◆ 参加・体験を想定（コースター、ジャム、燻製など）

《ブロック別想定用途》

ブロック名	用途等
1ブロック	防風林・魚付林
2ブロック	遊びの広場（管理棟）
3ブロック	駐車場
4ブロック	市民ガーデン
5ブロック	果樹栽培ゾーン

②魚つきの森2ゾーン

《基本コンセプト》

ワークショップ構想図Ⅰゾーン(魚つきの森1ゾーン)と一体となって、「菊池の沢川」を通じて、海との連携を図るゾーン

《取り組みポイント》

- ◆ 防風対策を想定
- ◆ 「石狩市子ども会育成連絡協議会」植樹ゾーン
- ◆ 「漁協女性部」「小・中学校」等の参加による、魚付林の継続的な取り組みを想定
- ◆ 学校の記念植樹等を想定

《ブロック別想定用途》

ブロック名	用途等
1ブロック	防風林
2ブロック	教育林
3ブロック	駐車場
4ブロック	魚付林

③多目的利活用ゾーン

《基本コンセプト》

比較的平坦な地形を活かし、多様な活用を図るゾーン

《取り組みポイント》

- ◆ 防風対策を想定
- ◆ 短期間での植樹を想定
- ◆ 樹木とのふれあいを想定
- ◆ 多種多様な取り組みを想定

《ブロック別想定用途》

ブロック名	用途等
1ブロック	防風林
2ブロック	広葉樹の森
3ブロック	低木の森

《配慮事項》

※まとまった土地であることから、補助金や助成金等の導入を検討し、スピード感をもって対応できるよう検討

④彩りの森ゾーン

《基本コンセプト》

起伏に対応した、きめ細やかな森づくりを行うゾーン

《取組みポイント》

- ◆ 防風対策を想定
- ◆ 並木道を想定
- ◆ 市民の記念植樹等を想定
- ◆ 起伏に対応した樹種の植樹を想定
- ◆ 風車の周辺において低木を想定

《ブロック別想定用途》

ブロック名	用途等
1ブロック	サクラ並木ゾーン
2ブロック	ピオトープ
3ブロック	広葉樹の森
4ブロック	低木の森
5ブロック	市民記念樹の森

《配慮事項》

- ※「ピオトープ」については、地形を活かすことで、人の手によって、お金をかけないで整備することを想定
- ※風当たりが強い場合、防風垣の設置を検討
- ※サイロからこのゾーンの斜面が見えることから、色のある木や花などを植えることによる借景としての活用を検討

【その他の配慮すべき事項】

◇管理棟及び駐車場

- 多くの人が気になる施設であり、人に来てもらう施設としても必要
- 森の上方に設置が必要な場合には、自然にやさしいトイレも想定

◇道路・通路

- 地拵え、植え付け、苗木の運搬のための道路を工夫しながら確保
- パイロット事業でトラクターが通行した既存通路を活用
- パイロット事業で整備済みの2本の5m通路は、数十年が経過し、ニセアカシアが出てきているので、伐採の実施を検討
- 2本の5m通路のうち、下側通路は毎年の草刈りにより、上側の市道（舗装道）から国道までの通行は可能だが、現在通行が難しい上側通路についても、今後は植樹の際に利用を要することから、森づくりの進捗状況を見ながら再整備を検討
- ②ゾーンの駐車場への入り口の道路が狭いので、何らかの対応を検討

◇環境

- ①、②ブロックの牛舎跡、豚舎跡のコンクリートガラ等については、他の事業も絡めながら処理を検討

◇情報発信

- 市民に親しまれる森とするため、インターネットや、「えりすテレビ」などで、取組状況などを、市民に情報発信していくことを検討

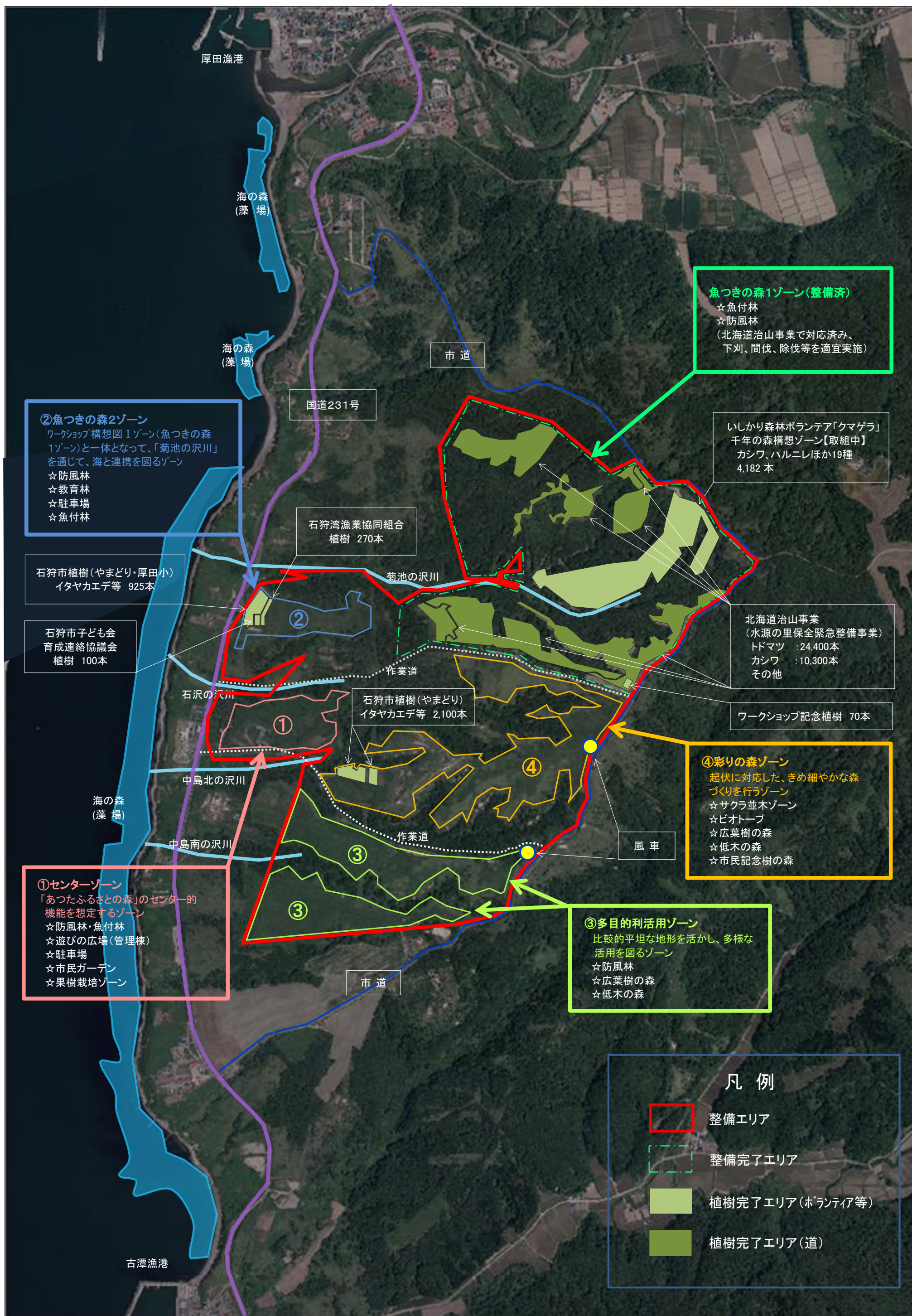
◇事業スキーム

- まずは森づくりを先行させ、森の整備状況を勘案しながら、施設等の整備を検討、実施することを想定
- 市民植樹は、一つの団体だけで行うことは難しいことから、色々な団体が参加できる形態を検討
- 各ゾーンの特徴に応じ、短期間で整備するゾーンと、長期間で整備するゾーンの二通りの考え方、またはその組み合わせで植樹を検討

森づくりの方針図

ゾーン図

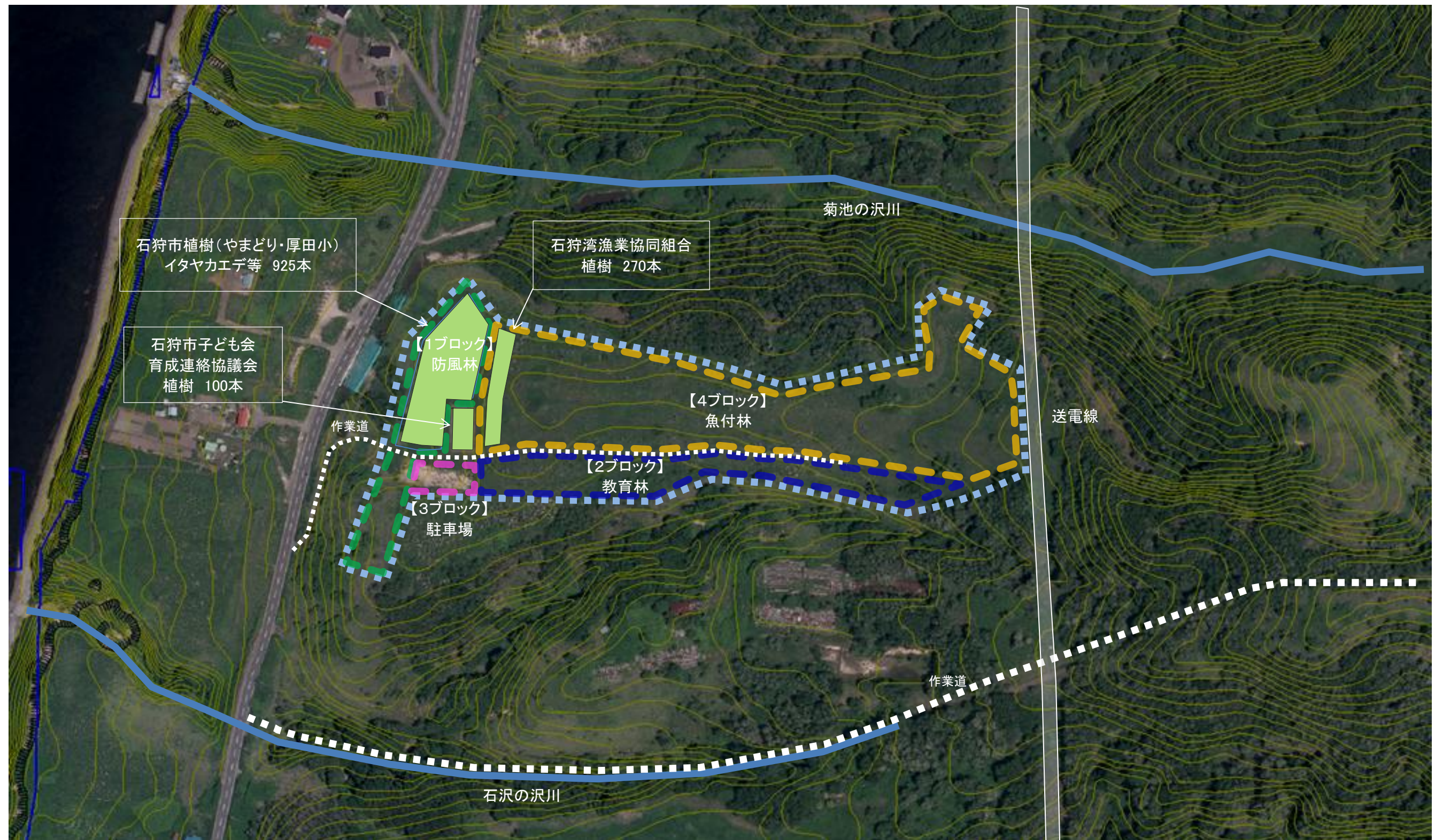
「あつたふるさとの森」森づくりの方針図



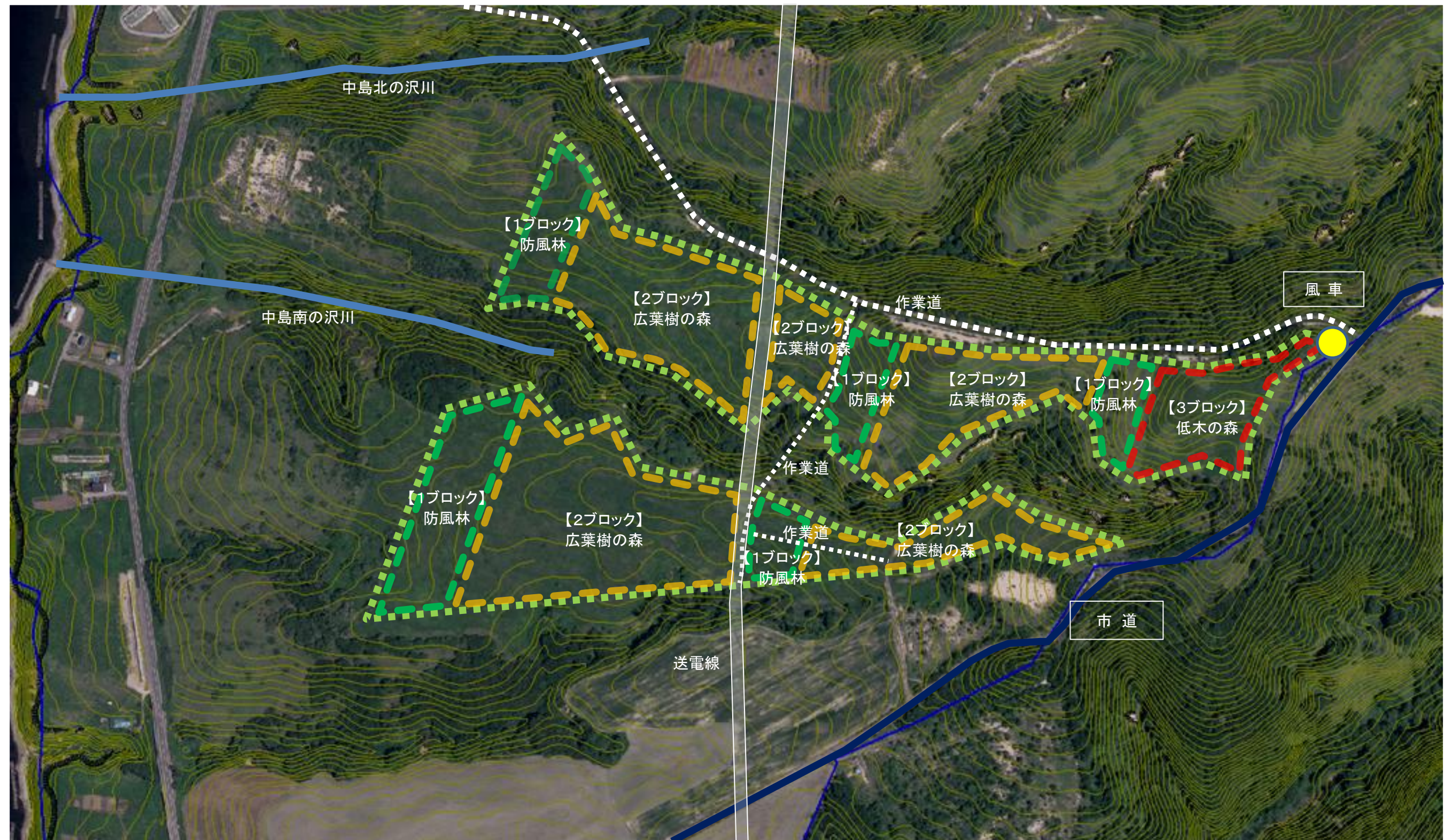
①センターゾーン図



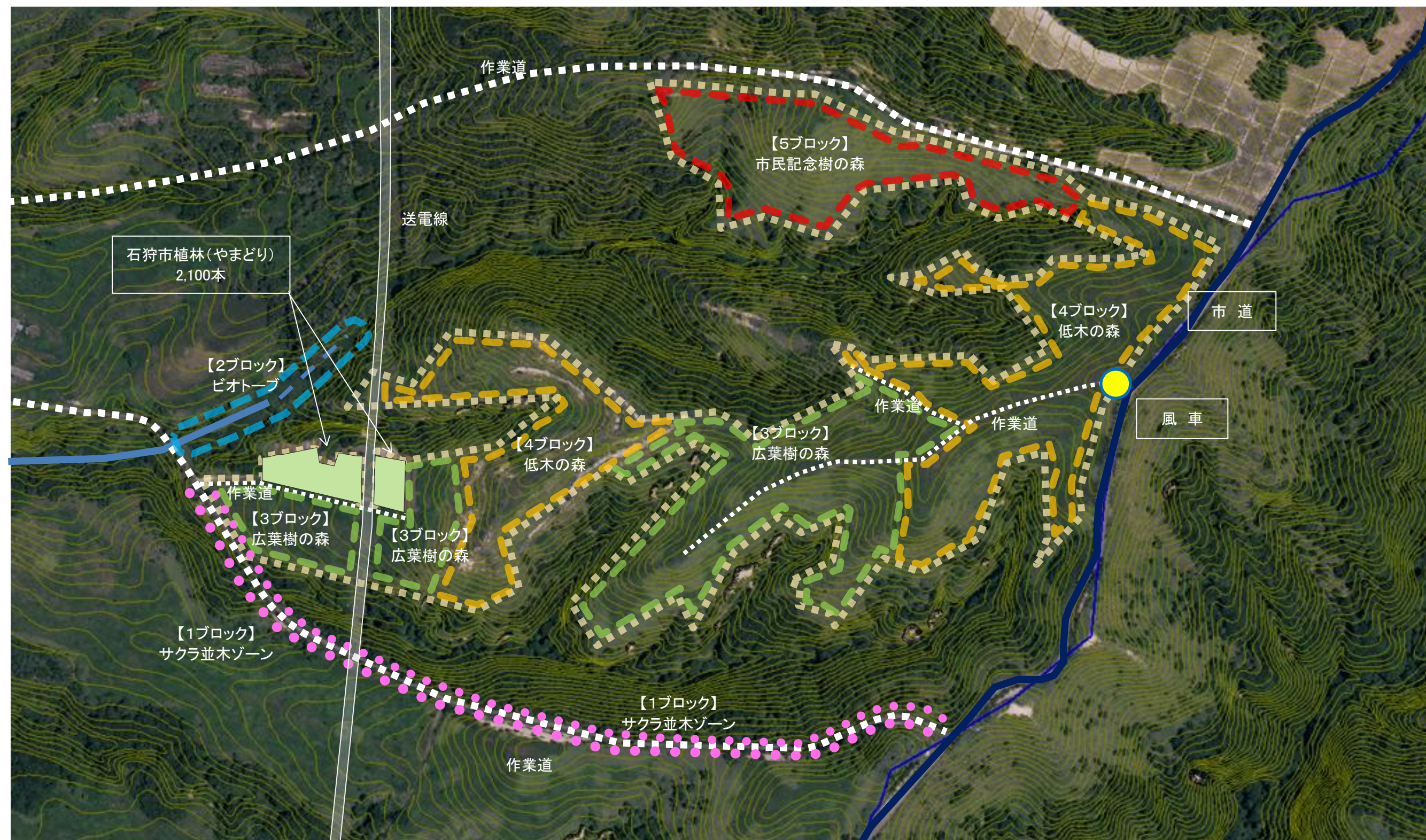
②魚つきの森2ゾーン図



③多目的利活用ゾーン図



④彩りの森ゾーン図



参 考

ワークショップ構想図(H20・21)
取組方針検討会議事録概要版(H25)

あつたふるさと森構想図



参考資料（議事録要約版）

◆『第1回あつたふるさとの森取組方針検討会』

日時：平成 25 年 6 月 25 日（火）18:30～20:00	
場所：厚田総合福祉センター 多目的ホール	
参加者： 厚田自治連合会 望来地区自治連合会 聚富地区自治連合会 地域協議会 石狩湾漁業協同組合 石狩北商工会 石狩市森林組合 やまとり クマゲラ 市 北海道グリーンファンド 市民風力発電	河合副会長 築田副会長、阿部環境衛生部長、渡部会計 永井副会長、大黒会計 柴田委員、高橋委員 上山副組合長、和田専務理事、中井女性部長 岡林事務局長 藤田事務局長、受川総務部長、浅海係長 八木沼会長、小林事務局長 関会長、大井監事 南建設水道部長、清水建設指導課魚つきの森プロジェクト担当課長 尾山厚田支所長、池垣厚田支所市民生活課長 鍋谷環境室参事、宇野環境室主査 小林事務局次長 荻野事業開発部員
議事概要：	【清水魚プロジェクト課長】 検討会の目的、ふるさとの森の経緯、風力発電の概要の説明
＜風力発電に関する質疑概要＞	
参加者 市民風力発電 参加者 市民風力発電	●（風力発電の）売電期間の20年間のその後は？ ○北電との最初の契約期間が20年間で、その後は基本的に撤去予定。 ●20年間で止めて、事業が成立するか？ ○法制度の変更で、風力や太陽光の電気を、北電が一定価格で20年間買い取る制度で行うので、ある程度の事業見通しが立った中で実施。
参加者 市	●2回目の説明会では、厚田以外の人からの意見が沢山出ていたが、次の説明会では、地域の意見を言える場と時間がほしい。 ●売電益がふるさとの森にも還元されるとの説明がなかったので、次の説明会では説明してほしい。 ●地元の町内会や厚田の人たちの意見を十分取り上げ、進めてほしい。 ○事業者の11、2月の説明会では、市外の方々の環境への懸念意見が強く、その質問を受ける場となった。 ○私たちが重要視しているのは、地域の方々の市民生活、自然環境へ、十分留意してもらうことを基本。 ○8月の説明会にも、風力発電に対する地域の思いなどを伝えてもらい、ふるさとの森計画との共存ができればと思っている。
参加者 市	●事業主体の「（株）厚田市民風力発電」の名称の意味は？ ●（厚田市民の）名称は名目上使っているのか？ ●会社の構成員は？ ○新港地域でも同様の形態で3基運行しており、風車毎に目的法人を作っている。 ○グリーンファンドが事業主体の元となり、色んな地域で風力発電事業をやっており、それぞれの地域の風力発電事業毎に目的会社を作り、事業採算性を担保している。 ○例えば、秋田の風車の経営が怪しくなり、事業採算がある厚田の風車が、秋田の風車によって駄目にならないよう、それぞれの事業目的会社を作っている。
グリーンファンド	○今回の事業で株式会社を新たに立ち上げ、厚田の風力発電を行うための会社。 ○会社の名称が「厚田市民」となっていたので、厚田の市民がどう関わるのかと思われたと思う。 ○私たちは、市民一般から出資をもらい、市民参加で風力発電を行うということで「市民風力発電」という名称の株式会社であり、今回は厚田で行うため「厚田市民風力発電」という名称となった。MPAは北海道グリーンファンドや市民風力発電のMPA。
参加者 市民風力発電 グリーンファンド	●一般家庭2,800世帯分とは、1年分か？ ○1,000万kWhを一般家庭の電気量の12カ月分で割ると、2,800世帯分となる。 ○電気事業連合会の発表数字が1カ月300kWhで、それで単純計算すると、2,800世帯分となる。
参加者 市民風力発電 参加者 市民風力発電	●風車に隣接する道路で、安全対策、振動等の問題は？例えば、強風での倒壊は？ ○倒壊対策として、地質を調査し、大臣認定をとって設置。 ●風を切る時の音波など、人体に対する影響は？ ○騒音、低周波に関し、まずは居住区から離れた場所に設置する。 ○風車を回した時の音について調査し、影響はないとの判断で、計画を進めている。
参加者 市民風力発電	●公園化という、人が集まる場所との整合性は？ ○森の作り方によって、距離関係は決まるかと思う。 ○音についても、実際に建ててみなければ分からない面もあり、問題が起こりそうな際には、調査など対応する。
グリーンファンド	○今、事前調査をしており、それとの比較の中で、対策をとっていくこととなる。 ○私たちの千葉県の市民風車は、キャンプ場の芝生の中に建てている。石狩新港と同じ規模で、芝生では子ども達のサッカーなどが日常的に行われている。 ○海岸に建てている茨城の風車は、海水浴場の駐車場の脇で、サーフィンなど沢山の人が来る場所に建てている。 ○これまでの事業の経験から、森の中に建てることについても問題はないと考えている。
参加者	●植林した木は弱いので、風車の風による影響はないか？

市民風力発電	○もともと風があり、風車の後ろで風が乱れることはあるかもしれないが、方向は変わっても強くなるという認識はない。
参加者	●20年後に継続しない場合、基礎まで全部撤去するのか？撤去するのなら全部撤去してほしい。
市民風力発電	○分かりました。
参加者	●平成25年に着工とあるが、通常は環境調査をし、国からの認可を得て着工かと思うが？
市民風力発電	○着工は来年度以降。法令等の規模から、環境アセスメントは必要としない事業だが、自主的に、音や鳥の調査し、説明会においても説明している。
＜森づくりに関する意見交換＞	
森林組合	●森林組合としては、この奥でおよそ100haほどの造林を計画している。
市	●ここ（ふる森）が防風的な役割を果たしてくれと、中の方の木の成長が非常に良くなるので、できれば植林を急いでもらいたい。
森林組合	○（急ぐ場所は図の）③だけでなく、④もか？
森林組合	●④も急いでほしい。
市	●ここ（ふる森）では何を以て人に人を集めようとしているか？建物や食べ物など、何かあるか？
市	●（図の）①、②あたりに、人を2度、3度、4度と来てもらえる何かが必要ではないか？
市	●魅力がある、何かチャームポイントがないか？
市	●ハーブ園などは植え替えが必要であり、維持管理だけかかることになる。
市	●何かお金を落とせる場所を作ったらいいのではないか？
市	●人に来てもらう施設は絶対必要だと思う。Mは気になるし、水洗で、ウォッシュがあるかどうかは、皆が気になるところ。森だけでは人は集まらないと思う。
市	○市としても必要だと思っているがまだ出ていない。
市	○これからの皆さんからの提案を得て厚田ならではのものを見つけ出していきたい。
市	●商工会、漁組を参加させないと上手くいかないと思う。
市	○厚田の農、海産物の豊かさを活かすため、食べ、買えることの重要性を、支所長とも意見交換しており、皆さんの参画で、ここが厚田の心のふるさとになるよう取り進めたい。
市	○森づくりを先行させ、後にM的な施設を設置できれば、と考えており、Mなどの施設は、少し後になるかも知れない。
市	○今年度は、ニトリ北海道応援基金で900本ちょっとの植樹をする。
市	○今後の全体の資金繰りにより、進め方は入り組んでくるので、その部分も計画的に進めていかなければならないと考えている。
市	○施設系は、森の形が少し整い、人が呼べそうになり、人が呼べそうな施設と上手く組み合わせ、来てよかったなと思えるような森づくりのイメージを見つけ、資金活用しながら、やっていければと思っている。
市	●漁組は、森林組合と5年契約で植樹活動をやっているが、昨年がちょうど5年目。植樹場所は発足の奥の砂金山のずっと奥で、厳しい状況にあった。
市	●苗木が240本、桜の木が30本、明日にでも来るような状態だが、植樹する場所が選定できなく、困っており、切羽詰まった状況。
市	○皆さんがよければ、先ほどの②あたりを含め、先行した形でどうか？
市	●ぜひ、お願いする。
市	○皆さん、よろしく願いたい。
市	●組合として毎年植えていきたいので、何とか一緒にやっていきたい。
市	○継続することは、市としてもありがたい。
市	○今日の段階では、具体的決定はできないが、皆さんからの内諾、了解をもらいたい。
市	○左側の魚付林を完成させるということでは、②が有力かと思うが、このあと漁組と相談のうえ、進めてよろしいか？
市	●私はワグゾップにも参加し、何回か歩いて見て全体像も見えてきている。
市	●④の一部を、「やまどり」が手がけているが、広いので全体とはならない。
市	●③も、市の「森林施業計画」に入っていると思うので、森林組合と連携し、できるだけ市のお金を使わないほうがいいのでは。
市	●②も、一部、子ども育成会で植林しているが、全体は草地で、かなりの面積があるので、漁組が200本ずつ植えるとすれば、20、30年分あるが、継続的にやってもらいたい。
市	●一つの団体だけではできないので、色々な団体が参加できるような形がいいと思う。
市	●我々のところに、「つうけん」や「銀行」などから、植えたいとの申し込みがきている。
市	●自分でお金を出し、補助金を使わずに、植え、植栽、下刈を全部やる。
市	●道の「企業の森づくり」などと連携すると、色々な企業が参加してもらえると思う。
市	●社員に対する啓蒙活動の一環でもある。
市	●つうけんは200、銀行は500人くらいの植林ということで、こういうところを利用したらいいのではないか。
市	●地元でご飯を食べたいと、地元の商売にもなり、地域に企業からのお金を落とすことができ、再度来る人もいることから、そういう方向がいいと思う。
市	○まずは大きく構想を作り、森を作るための手法として、銀行の森を作るなどを、これから皆さんと詰めていければと思う。
市	○そういった情報をもらい、たたき台的なものを作りながら、会議の中で提案していきたい。
市	●ワグゾップでは、Jソルも入っているが、キーワード1、2、中学生の意見など、成果は受け取っているか？またニトリからは何か示されているか？
市	○成果品は受け取っており、最初に示した図がワグゾップの構想図。
市	○提案されたものでも、諦めなければならないケースもあると思い、全てのキーワードを出した。
市	○ワグゾップで出たものをできるだけ採用するように進める。
市	○配置については、道事業や、ニトリの事業との組み合わせの中で、構想図どおり配置できない可能性も

クマゲラ市	ある。 ○配置をずらすことで、自由度が増し、色々な発想の展開もできるのではと思っている。 ○議論を無しにするのではなく、むしろ積極的に活用し、これからの議論の中に受け継いでもらいたい。 ○ニトリの絵はない。 ○もし市とパートナーとしてやるとすれば、本物の森づくりをやろう、という話になってきている。 ○まず森を作り、それが育ち、良い森なったということで人が集まり、それに相応しい施設を増やしていくような作り方も、一つあるかと思う。 ○ニトリは、地元の意見を大事に、と言っている。 ●ニトリへはキーワードの情報を出しているか？ ○キーワードは出していないが、森づくりのコンセプトは示している。 ○ニトリは応援基金で、全道に1,000万本の植樹を今展開しており、その一環の「あつたふるさと森」についても、支援、評価をもらっている。
北商工会	●今までの経緯経過がよく分からないので、2回目、3回目を進めるにあたり、温度調整をしてもらいたい。
森林組合漁組	●ワークショップに地元住民の参加はあったか？ ●私が参加していた。 ●あっちに公園作るとか、色々なもの作るとか、当時はあった。
市	●作るのはいいが、最初の何年間では来ても、飽きて誰もこなくなったら、あとは管理費で終わり。であれば最初から建てないほうがいい、という話をした。 ●何をやれば良いかというと、この森の構想は、木を植えるのが一番いい。浜も良くなるし、草地も埋まるし、それ以外何にもいらない。
森林組合市	○ワークショップ後に情報発信がなかったのは、市の落度。 ○今日がスタートとして経緯経過を伝えたいつもりだったが、資料等が十分でなかったので、次回に向け、資料を整えたい。
やまどり	●今までの資料は、もらえるか？ ○資料が足りなかったので、次回、それらの資料を含め、共通認識を持ってもらえるよう、おさらいをしたい。
クマゲラ市	●ワークショップには私もずっと参加。 ●地元住民は5、6人参加し、5回やり、子供達、一般、厚田の人、藤の学生、石狩の人などが参加。 ●色々な構想があった中、当時は、平らな図面の上で話し、実際の現地で当てはめることは大変なので、構想を組み入れながらも、場所がずれたりすることは理解する。 ●今日は第一回で、経過も、ただワークショップでやったというだけ。 ●今日はスタートで、皆さんの意見を聴き、次にどうするかを進めていったほうがいい。
市	●今後のスケジュールで、これだけの人数では、かなりの時間がかかるので、協議会や実行委員会といった方式で討議を深めては？ ●この事業に、道の施策の「北の里山構想」をあてると、かなり有効的な施策になっていくのでは？ ●石狩振興局管内では、3箇所ぐらい、選定しているので、そういった施策も活用しながら、やってはどうか？
漁組	●個人的は、色々な企業から打診が来ているので、そういった情報も活用しながら、やってほしい。 ○今後のスケジュールとして、形については持ち帰らせてもらう。 ○この形の場合は、7月下旬に「方針原案のたたき台」に対して意見を言ってもらい、足りない部分は足し、更に8月下旬には、さらに意見交換し、ある程度骨格的な部分を作っていきたい。 ○その後は、より具体化すべく、この段階で、個別テーマ毎に集まってもらわなければならないと思う。 ○9、10、11、12月と、何回開催できるか分からないが、一月に一回ぐらい、テーマ毎に集まって、中身を詰めさせてもらうことを考えるが、7月、8月の検討会の中で、スケジュールを詰めさせてもらいたい。 ○最終的には来年3月末までには、取組方針を市民に示すため、パブリックコメントを実施し、取組方針を市として決定していきたい。
市	●植林の場所について、尾山支所長と南部長とで協議し、本日の参加者にも理解してもらい、来月の下旬までに決まるように、お願いしたい。 ○了解した。

◆『第2回あつたふるさとの森取組方針検討会』

日時：平成 25 年 7 月 25 日（木）18:30～20:00	
場所：厚田総合福祉センター 多目的ホール	
参加者：	
厚田自治連合会	土門会長、河合副会長
弁足自治会	伊藤会長
望来地区自治連合会	中西会長
聚富地区自治連合会	本吉会長
地域協議会	柴田委員、高橋委員
石狩北商工会	岡林事務局長
石狩市森林組合	藤田事務局長、受川総務部長
やまどり	八木沼会長、小林事務局長
クマゲラ	関会長、羽田副会長、大井監事
市	南建設水道部長、清水建設指導課魚つきの森プロジェクト担当課長 澄川林業・水産担当課長、竹内林業・水産担当主査 尾山厚田支所長
議事概要：	【尾山支所長】（前回議論の）漁組の植林の取組内容を説明 【清水魚プロジェクト課長】（前回の補足の）H2O、21 ワークショップの概要、市の考え方、事業実施に向けたスライド、ワークショップの構想図、今回市提案の構想図の関係性・考え方などを説明

＜市の考え方・事業実施に向けたスライド＞

クマゲラ市	●市の説明の中の「地域」とはどこか？ ○まずは地元の厚田区民から意見をもらい、取組方針は全市的なものなので、全市的な意見をもらう。 ○厚田区での開催は、地域の生の声をもらい、地元にも多く関わってほしい、厚田区に来ている。ある程度まとまった段階で、全市的なご意見をもらう。
クマゲラ市	●これは石狩市の取組で、厚田区の取組ではないですね？ ○はい。
やまどり市	●広範なので、目的を絞らないと、予算が大きくなる。 ○進めていくにあたり、こういった資金を充てていくかが重要となるので、今後詰めさせてもらう。 ○目的を明確化したなかで進めたい。
やまどり市	●市民の手で全部やっていくことは到底考えられない。 ●四つのゾーンの中で、業者や、企業の融資など、その有効な活用を図っていくことが必要。 ●ボランティアだけで進める訳ではなく、IIP毎に進めていくと思うので、それがこれからの議論になる。 ○はい。

＜ゾーン設定について＞

※Ⅰゾーン（ワークショップ 構想図）について	
やまどり	●色々な形で利用できるのが先決。 ●保安林にして植栽したので、保育の 10 年間は（道に）面倒を見てもらえる。 ●きのこの森、カマツの森などについて、保安林でも 30%以内であれば伐採でき、保育は幾ら切っても大丈夫なので、道から（管理が）離れても、ふる森の整備は図っていける。 ●今後色々な形で助成金を受けても、森林組合の手を借りなければいけないところが沢山出てくる。このようなことを加味したうえで進めてはどうか。「やまどり」のところも、最終的にはそうになっていくと思う。
クマゲラ市	●5年間で数千本植えたが、越年して育成していかないものがある。 ●完了となると終わったと思われるが、植え直しなどが必要となる。 ○私どもの「完了」は、天然林がこれだけある中で、あえていじらず、除間伐等で森づくりを行っていくことと、治山事業で 34,700 本の植樹が完了したことを踏まえ、このゾーンで新たに計画を立てて取り組む事業はないとの思いで完了とした。

※Ⅱ、Ⅲ、Ⅳゾーン（ワークショップ 構想図）について

森林組合	●これだけ広大なところでの植え替え、下刈を考えると、綿密に道路を考えておく必要がある。 ●道路を外して植林していかないと、一遍に植えると行き来ができなくなる。そのほか、トイレ、排水などが必要。これらを整備したうえで、植林していく。
クマゲラ市	●ゾーンで細かく線引きするよりも、まず基本は山を先に作ってしまう。 ●そして山全体が教育の場所、山菜の場所、学ぶ場所、環境の問題となる。 ●ゾーンを細かく分けると後の維持管理が大変になる。第一段階は森づくりに集中していく。 ○市としては、ワークショップの構想図を、この市の計画にどれだけ取り組めるか、と考えながら進めた段階で、その思い、取り組めるものをゾーン設定しておいたほうがよく、その後に、そのゾーンの中で、どういう森づくりをし、設定された構想をどう実現していくかということを考えるため、まずはゾーン設定をやっておきたい、このたたき台を作成した。
クマゲラ市	●市民がゾーンは、実際問題としては大変。 ●誰がやり、維持管理をするのか。 ●四季の森は、自然の森を作れば四季の森となるので、あえてゾーンとして四季の森とすることには考える余地がある。
やまどり市	●色々な団体が参加する中で、全体管理となると、市の単独の資金では対応できなくなると思う。 ●色々な助成を受けるためには、林班を設けて団地造成の計画を森林組合が立てることになるのではない。 ●管理のため管理棟やトイレも必要となる。将来は商業活動として、商工会も関係してくる。 ●道路については、細かく、至る所にある。5m幅で、砂利も国の基準で 30cm 入っている。 ●除根すると立派な道路になる。

森林組合市	●道路を図面に落としきれない。 ○今日の図面の中に黒の破線で2本入っているのが道路。 ○下側の道路は上から下まで通行でき、上側の道路は一部通行できないところがあるが、これを骨格として活かしていきたい。 ○作業道として横線が必要になるのかどうか、将来の散策路として活用できないかどうか。
森林組合市	●既存の道路を利用したら。 ○基本的には既存道路を利用する。
森林組合市	●草刈りなどの維持管理は誰がするか？ ○もちろんついてまわる。
やまどり市	●道路は改めて造る必要はない。 ○森の恰好がつけば、それに見合った施設が必要となるので、まずは森づくりを優先したい。
地域協議会	●長い取組となるが、予算の裏付け、市としてどれくらいの予算を毎年投入できるのか。 ●先日の風車の説明会では、北電への売電利益の一部から市へ還元され、市としても、その中から、こういったものにも活用していきたいと聞いたが、見通しとして、何年ぐらいにどのくらいの予算で、さらに風力のほうをどのくらい見込んでというものがあるか？
市	○現状では提示できる状況にはないが、風車の事業は20年間続くので、金額は決まっていなくても、一定の金額が得られると考えている。 ○苗は、実生から育てる方法をクマゲラが実施しており、苗木は、今利用しているニトリの北海道応援基金があるので、それをもう少し活用させてもらう方法もある。 ○道の事業も上手く活用していかなければと考えおり、全体事業の中で、どこにはめられるかを検討する。
市	○資金計画の中で、どのように進めていくということが重要となる。 ○ニトリの資金だけではなく、色々な資金を活用した中でということになる。 ○今現在の市の考え方は、構想に合わせたゾーン設定をしたなかで、そのゾーンに何が必要になるか、どういう森を造ろうかということを議論した中で、それに実施するにはどれだけのお金が掛かるのか、資金をどこでどう対応していくかを考えていきたいので、今は7-7-7で考えたゾーンをどこまで取り組めるのか、それをどこのゾーンで実施すべきか、ということを議論した中で、今回は、細部に渡って、その中のゾーンの中で、この森をどの位置にしていけるかを議論していきたい。
やまどり市	○よって、全体計画はまだできていない。 ●この事業は色々な人に参加してもらわなければならないし、企業に応援してもらわなければならない部分もある。 ●最終的に全体的な森づくりとなるが、その中には、子ども達が参画できる場所や漁協が参加できる場所も必要となるので、ゾーンに切ることには賛成。
やまどり市	●地帯え、植え付け、苗木の運搬には、道路の確保が大前提となる。 ●パトロール事業でトラクターが通れる道路もあると思うので、それを優先的に確保する。 ●ゾーンも、畑で利用した場所があれば、広葉樹がすぐ植えられるところもあるし、パトロール事業の土の移動によって、はげ山になったところは、防風林的な植樹をしなければということでゾーン設定されていると思うので、道路をまず造って、適地適樹ですぐに植えていけるよう、今日のような話を進めていこう。
やまどり市	●現場で合わせていくことが必要。湿地帯も現地にあるものを活用する方法もある。
やまどり市	●堤体を造れば自然にできる。ビートアップのレベルにならなくても。 ○予定時刻となったので、細分化した4つのゾーンの設定の議論は、次回持ち越しとする。
<その他>	
クマゲラ	●ある程度のたたき台ができれば、このマップで雪が降る前に、現地確認をしてはどうか。 ●「森」の二番目の「木の杜」の「杜」の文字は「森」がいいのでは。 ●市民に親しまれる森の想像として、インターネットや、えりすテレビなどで、今、こういうことを検討していることを、市民に情報発信していくことが必要。
やまどり市	●こういうことを踏まえ、1から4のマップを進めてほしい。 ●やはり広大なエリアなので、素人的に、ボランティアで出来るところはボランティアで、プロ、企業に預けると、明確化すべき。
クマゲラ	●企業からの支援の話があったはずだが、全て駄目になったのか？営業活動も必要ではないか？ ●ゾーンなどの業務はコンサルの業務ではないか？散策路は可能だが、更に絞り込みをすることなどはプロの仕事ではないか？
市	●青い川らしきものは河川か？河川名が付いていれば次回表示してほしい。 ○普通河川で市が管理しているので、次回示す。
やまどり市	●この事業は森公園を造るということだったか？ ○森づくりであり、森林公園。
市	○先ほどの企業の話は、道を通じて話は来ていたが、条件が厳しく、実現化していない。
市	○実行委員会方式については、将来的には必要になる可能性はあるが、もうしばらく、現在の形で進めたい。 ○設計図面については、プロにお願いしないと出来ないものも出てくる可能性はある。 ○建物系は当然必要となるので、今後協議していく。木を植えるという部分は、皆さんの力だけでかなり実施していけると考える。
クマゲラ	●市内の緑苑台小学校では、毎年80人程度、当別に植林に行っている。 ●森林学習はまだ続くと思われるので、声かけをしてみてもいいのでは？
やまどり市	●今年は厚田小学校の生徒も植林に参加してもらう予定となっている。 ○10月17日に植樹を予定しているので、声を掛けられるところには掛けていきたい。

◆『第3回あつたふるさとの森取組方針検討会』

日時：平成 25 年 8 月 29 日（木）18:30～19:40	
場所：厚田総合福祉センター 多目的ホール	
参加者：	
厚田自治連合会	土門会長、河合副会長
古潭自治会	高橋副会長
発足自治会	窪田副会長
聚富地区自治連合会	本吉会長
地域協議会	佐藤会長、柴田委員、高橋委員
石狩湾漁業協同組合	上山副組合長、和田専務理事
石狩北商工会	藤田副会長、岡林事務局長
石狩市森林組合	藤田事務局長
やまどり	八木沼会長、吉田副会長、小林事務局長
クマガウラ	関会長、安達副会長、大井監事
北海道グリーンファンド	小林事務局長次長
市	南建設水道部長、清水建設指導課魚つきの森プロジェクト担当課長
	鍋谷低炭素社会推進・新エネルギー対策担当
	尾山厚田支所長
議事概要：	【南部長】（前回までの）確認 【清水魚プロジェクト課長】（前回配布資料のうち）「ワカショウブ 構想のⅡからⅣゾーンを細分化し、4つのゾーンに設定」の全体説明・各ゾーンの市の考え方などの説明

<ワカショウブ 構想のⅡからⅣゾーンを細分化し、4つのゾーンに設定>

※基本的な方向性の説明を受けて	
やまどり	●ワカショウブ の内容に沿った形になっており、細部は状況に併せてやっていく必要はあるが、四つのゾーンに分けて進めていくことには賛成。
市	○軽井沢一ツ広場、スナック広場について、平らな場所がないので難しいと考えている。
やまどり	●ワカショウブ の内容には沿っていくが、当時は平面のところまで考えたので、②ゾーンでも豚舎跡など植林できないところもあるので、適宜対応していけばよい。
地域協議会	●豚舎跡については、ずっと放置しておくわけにはいかないので、廃棄物は撤去しなければならないのではないかと？
市	○そこだけではないので、事業を進めながら順次処理していきたい。
クマガウラ	●構想では、①ゾーンの牛舎の跡あたりに、管理棟らしき施設が必要となっていたので、この枠の中に一項目加えてほしい。
市	○次の項目のところ想定。
森林組合	●保安林を指定している所は、将来的に、制約があるので、今後の場所への考えは？木を切る時に道との協議が必要になるので。
市	○保安林の部分は法的な制約があり、森を守るための除伐、間伐などに限られるので、専門の皆様意見を聴きながら配置が決まったら、どのような指定がいいのかなど、手法の一つとして考えていきたい。

※ゾーン毎の考え方の説明を受けて

市	○今年はウグスを 25 本程度試験的に植えることを予定。
森林組合	●今年漁組も 30 本ほどウグスがある。
漁協	●全部で 270 本ほど予定している。
市	○②ゾーンを魚付林として予定しているので、この中でどういう配置にするか考えていきたい。
やまどり	●ワカショウブ を変更しながらたたき台ができたので、これでいいと思う。一番大事なのは作業道の関係。
	●①②ゾーンの間の立派なトラフが入った 5m の道路も、数十年がたって、カサアが出てきている。その伐採が必要。
市	●③ゾーンの南北に、高圧線のところに道路が入っている。これを活用するのもいい。
市	○草地の中に作業路があるので、これをブロックの目印にしながら、取り組めれば。
地域協議会	●これらの道路が分かるように図に入れてもらいたい。
市	○開パで整備し、トラフが入った道路は先ほどの破線の 2 本。そのうち、下の方の一本は毎年草刈りをしているので、上の舗装道から国道まで骨格として抜けられるようになっている。もう一本は整備の進捗状況を見ながら検討したい。
市	○どのエリアから先に整備していくか、あるいは同時多発的に整備を進めるかもあるで、細かな部分を詰めながら決めていきたいが、作業道は必要となるので、全体を見ながら決めていきたい。

※スケジュール確認

市	○次回 9 月は下旬の一回のみとし、取組方針の原案の確認として、基本的な考え方と先ほどのゾーンを地図の上に想定として落とし形でお示ししたい。
	○10 月下旬には、市役所の関係部局で取組方針の調整をするが、細部の詰めはまだなので、今日参加の方々の中で、専門的な知識をお持ちの方々からお知恵を拝借し、適宜伺いながら、案を固めていきたい。
	○11 月も、ある程度の構想をまとめていく際も、引き続き、森林組合、やまどり、クマガウラの意見を伺いながら、中身を詰めていきたい。
	○ある程度詰まったら、パブリックコメントを 1 カ月実施し、修正の有無を判断したうえで、取組方針として全市の計画として、2 月下旬には決定したい。
市	○今日は大きな①から④までのゾーンの中に、ある程度のブロックを示しているが、次回はブロック配置をどうするか？
	ブロック別にどんな樹種がいいのか？次回は検討会としての取組方針の取りまとめとしたい。

※その他

クマゲラ 市 クマゲラ	●ここに「海の森（藻場）」とあるが、道の事業として展開されているのか？ ○具体的な事業の内容は押さえていないが、調査結果として表示した。 ●これが魚付林の重要なファクターになるので、情報をガブの資料として提示されれば、取り組む側として勢いがつく。
＜風力発電の取り組み状況について＞	
グリーンファクト 市 漁組 グリーンファクト 市 漁組 市 漁組	○8月7日に、総合センターで3回目の説明会が終了。 ○北電との協議が終わり、風車は2本で容量が4,000KWとなった。 ○風車を建てる時期は来年度以降。説明会で出た意見や疑問点に対し、一つひとつ答えていきたい。 ○厚田について知らないこともあるので、皆さんの取り組みを今後もしっかり勉強させていただきたい。 ○風車をきちんと回るようにし、森づくりに貢献していきたい。 ○説明会を開催してきたが、今後は、地域の方々の理解を得ることと、グリーンファクトの提案として風車の売電益を環境事業に役立たせたいというなかで、一緒に協調しながら、この事業に協力できるか、不明な点を含めながら、地域の方々の理解を得ながら進めたい。 ●風車の前回の説明会では、自然への影響、人体への影響の調査をしたとあったが、海への影響の調査はしているのかと話した。 ●望来風車の近辺では以前はシツがとれたが今はあまり獲れない。 ●そういった影響もあるのか。 ●風の乱れ、空気の乱れが影響しているのではと感じられる。 ●乱れた風の影響がどれだけあるのかの調査もしてもらいたい。 ○検討していきたい。 ○環境への影響として、低周波や騒音など様々あるが、建てる前のシミュレーションとして、科学的勘定がはっきりしていない部分もある。 ○今想定できる、予見できる範囲内で事業者から説明しているが、私どもとしては、どうしても予見できない、調査不可能な部分について、検討はしていかなければならないし、世界的な学術的な考えもやっていかなければならないと重々承知しているが、今後懸念される問題については、建てた後にモニタリングをしていながら調査しながら、事業者と一緒に対応していきたい。 ●苦前にかんりの風車があるが、以前あそこもシツが獲れた地域だが最近では獲れない。 ●風の乱れや、自然に対する影響があると思うので、ここはシツやハナハの産卵場所であり、被害を及ぼすということは、漁業者として上手くないことなので、是非とも解決してもらいたい。 ○懸念の部分については重々承知しているが、自然への影響が甚大に及ばない範囲で事業を進めることになるので、漁業への影響とか、因果関係とか、勘定とか、原因とかが確実に特定できるものであれば、それは良しとして処理はしないので、調査、検討して、理解を深めたい。 ●もしそういうこともあれば補償問題に発展することもあるので、頭に入れてほしい。
＜全体を通して＞	
クマゲラ 市 市	●この検討会はあと2回だけか？その後はどうなるのか？ ○事業化に際しては、名称は変わるかもしれないが、こういう集まりは継続していきたい。 ○次回は9月27日(金曜日)18:30、午後6時半からこちらで開催したい。

◆『第4回あつたふるさとの森取組方針検討会』

日時：平成 25 年 9 月 27 日（木）18:30～19:30	
場所：厚田総合福祉センター 多目的ホール	
参加者：	
望来地区自治連合会	中西会長
聚富地区自治連合会	本吉会長
地域協議会	柴田委員、高橋委員
石狩湾漁業協同組合	和田専務理事、中井女性部長
石狩北商工会	藤田副会長
石狩市森林組合	藤田事務局長、受川総務部長
やまとり	八木沼会長、吉田副会長、小林事務局長
北海道グリーンファンド	小林事務局次長、竹内マネージャー
市	南建設水道部長、清水建設指導課魚つきの森プロジェクト外担当課長
	尾山厚田支所長
議事概要：	【南部長】 前回までの説明状況について確認 【清水魚つき課長】 検討会の「取組方針」の取りまとめの説明。 各ゾーン（前回は「ワークショップ」構想のⅡからⅣゾーンを細分化し、4つのゾーンに設定）の整備の基本方針、ゾーン毎の市の考え方・ブロック割の内容などを説明

<①センターゾーン>

森林組合	●自然にやさしい木の想定は？
市	○（汚水処理ができる）国道に近い場所は別として、上の方に設置が必要な場合には想定は必要。ただお金の問題もある。
森林組合	●タイムスケジュールの想定は？整備5ヶ年計画など。
市	○民間協力の度合いにもよるが、ガーデン的なものであれば、割と短い期間で出来るゾーンもあると思う。
	○市民がツツシ植える場所については、もう少し長い期間。
	○今時点においては、短い期間でやれるゾーンと、長い期間で考えなければならないゾーンの二通りの考え方、またはその組み合わせもあると思う。
	○長いゾーンは、10年、20年、30年、50年の期間になるかもしれない。
	③のゾーンは、やりだしたら一気にだろうが、一番遅れそうなのは④ゾーンか。
やまとり	●期間を決めておいたほうが、協力が得られやすい。
森林組合	●ここは10年、ここは20年で決めてもらえれば。
	●タイムスケジュールが一番大事。大まかなものでいい。
市	○市の事業だけではなく、民間の資金や道の資金も組み合わせていきたいので、事業の組立てについては、もう少し時間がほしい。
	○来年ぐらいには事業チームを組み立てていければと考える。
市	○事業を実施していくために補助事業の導入も検討していかなければならないが、この構想がある程度固まれば、施業林班図を重ね、補助事業を導入できる体制を早く組んでいきたい。
やまとり	●①は、良い案が出ていると思う。遊びの広場と駐車場については、（コンクリート）がうもありお金が掛かる。
	●果樹栽培の場所に施業道があるが、中間あたりに道路を入れなければならない。道路を入れ、風が当たらないし、果樹園としていい。沢があるのでビオトープも良い。
市	○補足説明として、ビオトープは④の中にあるが、①からも歩いて行ける距離にある。
	○地形を活かし、なるべく重機を入れず、人の手で作れば、お金をかけないで出来るのかなと思う。
やまとり	●いい案なので、実行に移してほしい。
森林組合	●いい案だと思う。街中では中々出来ないもので、皆で作ったら面白いと思う。

<②魚つきの森2ゾーン>

やまとり	●②プロジェクトの豚舎のあったところはどうにするのか？
市	○まずは平らな所を植樹し、コンクリートがある所は、そのまま放置出来ないで、何かの事業との組み合わせで、処理しなければならないと思っている。
やまとり	●今、防風林を作ろうとしているので、魚つきの森で良いのでは。作業道の上、下をやれば、樹木が育っていくのではないかと。
地域協議会	●駐車場の入り口の道路が狭い。
やまとり	●豚舎に進む道があるが、これを利用して工夫できないか？
市	○現在管理しておらず、通れないかもしれないので再整備が必要。
市	○1プロジェクトは防風帯を、子ども会の隣の黄色ラインの所が、今年から漁組に植栽をしてもらうゾーンとなる。
	○漁組の植える本数を逆算すると、ある程度の何年は分かる。
	○ここ全体を広葉樹にすることで、その腐葉土が沢に流れ、将来的には浜に行き、ニシが産卵可能な藻場を形成してくれるのではないかと考えている。それで大きく二つに分けた。
	○ここに作業道があり、漁協の婦人部だけでなく、いろんな団体が植えられる場所に出来る。
やまとり	●地形にあった配置である。
市	○漁組は（植林を）ずっとやってもらえるのですか？
漁協	●そのつもりです。
北商工会	●面積がいくらで、何本植えられるかをはっきりしておくべき。
市	○面積はすぐ出るので、配置をどうするかが必要。
やまとり	●案はこれで良いと思う。

<③多目的利活用ゾーン>

市	○道の事業を入れるのに適した、まとまった土地なので、林班を設定し、スピード感をもって、5年くらいで出来ればと考えている。
やまとり	●赤い所は傾斜なので、低木でも植えないと。

地域協議会 市 グリーンファクト 市 やまとり	●風車からの電気は空中か、地下埋（設）か。 ○地下埋（設）。道路の下を通して、このあたりで変電し、送電線と接続される。敷地は道路敷地か？ ○掘り返すこともあり、道路敷地。 ○（ゾーンの）案はどうか？ ●良いと思う。
-------------------------------------	--

<④彩りの森ゾーン>

市 やまとり やまとり やまとり 市	○作業道があるところは山の背になるが、外れると結構な勾配があり、坂になっている。 ●防風垣を何層か入れないとだめかもしれない。防風林を育てるため。 ●赤い所は風が当たらなくていい。既存木に囲まれている。 ●3ゾーンは風が強く、はげ山になっている。 ○ここはサトウの方から見えるので、色のある木、あるいは花などが考えられる。 ○無理して全部木を植えるということではなく、全体を考えてじっくり案を練り、全体として良い感じになるよう考えたらと思う。せっかくの起伏のある場所なので。
--------------------------------	---

<全体を通して>

地域協議会 市 全体 やまとり 市	●良いと思う ○それでは、よろしいか？ ●はい。 ●後はタイムスケジュール。 ○これから整備手法や樹木選定など、専門家の意見を聴きながら進めていきたい。
-------------------------------	---

<今後について>

市 市 市 市 地域協議会 グリーンファクト 市	○取組方針を検討する検討会は今回で一旦終了し、この会で検討されたものを庁内で取組方針案として取りまとめ、その後、条例に基づいたパブリックを経て、2月下旬には取組方針として取りまとめたい。 ○また、この会の今後の取り扱いとして、別な形で存続させていきたい。整備という段階の会に衣替えし、引き続きお付き合いいただきたい。 ○これまで厚田で議論してきたことを、厚田の意見として本庁に上げたい。そして、それを市が今後どのように進めていくかを協議することとなるが、その中で大きく変わるようなことがあれば、皆さんに周知していきたい。 ○風車の説明については、議会でも説明があったが、前回で終わるということとなった。建設に関する情報が入れば、皆さんにも伝えていきたい。 今後この会も残るので、これを上手く使ってもらいたい。 ○10月17日に植樹会があり、漁組、厚田小高学年、やまとりと市の職員で、大植樹会としてやってみるので、積極的な参加をお願いする。 ●風車の今後のスケジュールは？ ○雪解けから着工し、運転は来年の今頃かと思う。 ○今後風車の事業と森づくりの事業とが連携していくが、具体的な取組みについては、風車の建設と並行して、皆さんとお話させてもらうことを考えているので、よろしくお願いいたします。 ○この会は4回に渡り実施したが、市政懇談会の席での地元のかかわりが薄いとの話から、厚田の思いをこの森にどう活かそうかというのが一つのきっかけとなった。 ○市長からも早急にみんなの意見をまとめ、森づくりに反映させないさいという指示があったので、この会を開かせてもらった。 ○色々な団体から集まってもらったのは、個人でやるのではなく、厚田の人たちの全員の思いをこの森につなげようというのがねらい。 ○今後、このメンバーが継続した中で、色んなところでつながっていければ、そして事業着手する段階においても、事業計画が詳細になった段階で、また皆様方に相談したいと考えているので、よろしくお願いいたします。 ○4回に渡り、ありがとうございました。
--	--